

平成30年3月12日



北町小だより

練馬区立北町小学校
校長 稲葉 孝之

<http://www.kitamachi-e.nerima-kyo.ed.jp/>

平成29年度 北町小学校アンケート結果のお知らせ

立春を過ぎましたが、まだ寒さが続いております。皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月、学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。大変遅くなりましたが、結果と改善点をお知らせいたします。今後とも温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

1 回収数と回収率

児童数 589名 (98.5%) 保護者数513名 (84.2%) 教職員 30名 (100%)

2 H29年度アンケート調査結果と考察

* 結果は%で表記しました。

* 「考察と来年度に向けて」は、アンケート結果の考察と、来年度に向けての主な改善事項について掲載しました。

* <評議員の皆様より>では、学校評議員会に参加した皆様からいただいたご意見を掲載いたしました。

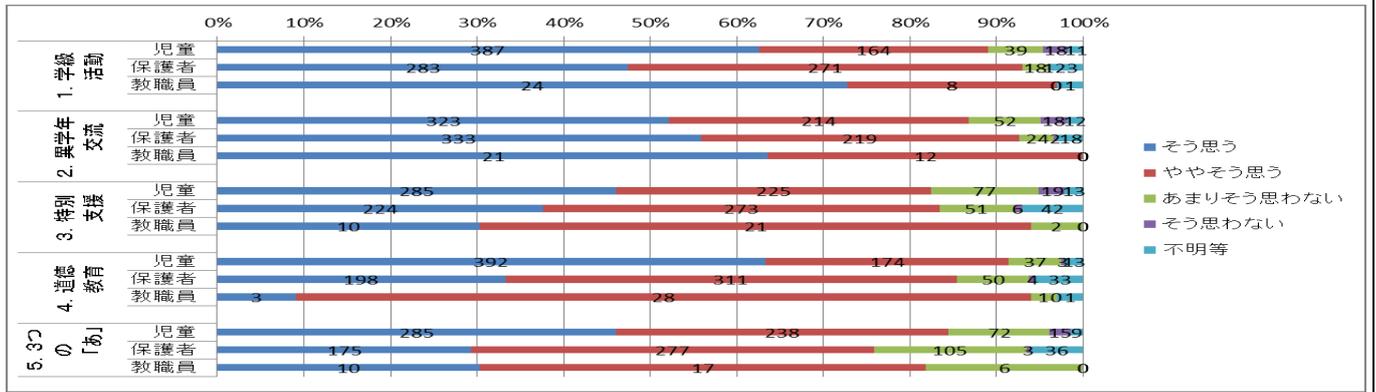
児童数 619名 (99.0%) 保護者数596名 (92.7%) 教職員 33名 (100%)

* A: あてはまる B: ややあてはまる C: ややあてはまらない D: あてはまらない 未: 未回答

* 上段: 本年度(29年度) 下段: 昨年度(28年度) の結果を示しています。

<やさしく>

視点	質 問 項 目														
	保護者・教職員 (共通)										児 童				
1 学級活動	学級活動を充実させて、お互いに認め、助け合える集団を育てている。										学校ではクラスの友達となかよく助け合って生活している。				
	保護者 (%)					教職員					児 童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	47.5	45.5	3.0	0.2	3.9	72.7	24.2	0.0	0.0	62.5	26.5	6.3	2.9	1.8	
47.2	46.8	5.1	0.6	0.2	57.1	42.9	0.0	0.0	59.5	33.3	5.9	1.2	0.2		
2 交流活動	たてわり班活動や通常学級とすまいる学級との交流を通して、おもいやりの心を育てている。										たてわり班活動やすまいる学級との交流では、相手の気持ちやできることを考えて活動している				
	保護者					教職員					児 童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	55.9	36.7	4.0	0.3	3.0	63.6	36.4	0.0	0.0	52.2	34.6	8.4	2.9	1.9	
52.0	40.4	7.2	0.2	0.2	17.9	78.6	3.6	0.0	45.9	42.8	9.3	1.9	0.2		
3 特別支援	通常学級とすまいる学級との交流や、けやきルームとの連携を通して、子供たちが人を思いやる心を育てている。										すまいる学級との交流では、相手の気持ちやできることを考て楽しく活動している。				
	保護者 (%)					教職員					児 童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	37.6	45.8	8.6	1.0	7.0	30.3	63.6	6.1	0.0	46.0	36.3	12.4	3.1	2.1	
4 道徳教育	道徳教育を充実させて、子供の豊かな心を育てている。										人や生き物、自然に対して、思いやりの心をもって生活している。				
	保護者					教職員					児 童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	33.2	52.2	8.4	0.7	5.6	9.1	84.8	3.0	0.0	63.3	28.1	6.0	0.5	2.1	
31.2	56.1	11.7	0.4	0.6	11.1	81.5	7.4	0.0	60.0	34.8	4.3	0.3	0.5		
5 3つの「あ」	3つの「あ」(あいさつ、あつまり、あとしまつ)を重点に指導し、子供たちが実行できるようにしている										3つの「あ」(あいさつ、あつまり、あとしまつ)ができる。				
	保護者					教職員					児 童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	29.4	46.5	17.6	0.5	6.0	30.3	51.5	18.2	0.0	46.0	38.4	11.6	2.4	1.5	
25.0	53.4	19.1	1.8	0.8	21.4	71.4	7.1	0.0	42.8	42.6	11.7	2.6	0.3		



<評議員の皆様より>

4. 5
/ 5点

- 児童・保護者ともA B評価の合計で高い値であり、概ね達成できていると思われる。
- 安全・安心ボランティアで来校すると、必ず児童から挨拶してくれ、よくできていると思う。放課後の「北っこ」事業では、すまいる学級の児童も受け入れており、問題なく楽しく交流している。いじめには繋がっていないが、意地悪な行動や言動に課題を感じる。
- 3つの「あ」において教職員のC評価が昨年度より悪化している。いじめの報告事案がないことは良く、今後も十分に子供理解に努めて、子供に寄り添った対応を期待する。
- 教職員と児童の評価において、大きな隔たりが見られる。特に、道徳教育に対しては顕著に顕れている。教職員の謙虚な姿勢かと感じるが、取組について自信をもっといただけて良いと思う。

<考察と来年度に向けて>

◇学級活動・たてわり班活動◇

保護者、教職員、児童ともアンケートの結果は、当てはまるとやや当てはまると合わせるとほぼ9割の評価でした。たてわり班活動は児童や保護者の中に浸透しており、立場がその意識を高め、育っていくとのご意見をいただきました。さらに充実を図ってまいります。

◇すまいる学級との交流◇

すまいる学級と通常学級との交流として全学年共通として、学校行事の他、学年ごとの行事を行ってきました。各学年での交流給食、交流学習、6年生のすまいる学級への出張清掃を実施しています。すまいる学級との交流できる活動を学級会で議題にして取組を進めたりしました。すまいる学級についての理解を深めるため、全学年学級にすまいる学級の担任が外向き、特別支援学級についての説明も行いました。「通常学級の児童や保護者に対し、すまいる学級を理解していただく努力が必要。」とのご意見をいただけており、さらに、互いの立場を理解し、行動する態度の育成を図ってまいります。

◇道徳教育◇

道徳授業地区公開講座で、本校の道徳教育についての取組とともに、平成30年に改訂される学習指導要領の「特別の教科 道徳」について説明を行いました。児童自身が、主体的な判断の下に行動できるよう児童の育成を図ります。人権教育についても道徳の授業との関連して、各教科、総合的な学習の時間等、あらゆる場面で進めていきます。
「いじめ防止対策推進法」に基づき「北町小学校いじめ防止基本方針」を作成し、いじめのない学校作りに取り組んでいます。年3回のいじめ防止月間の他、毎月児童の様子を把握するための聞き取りを行うなど、早期発見に努めて行きます。ご心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。

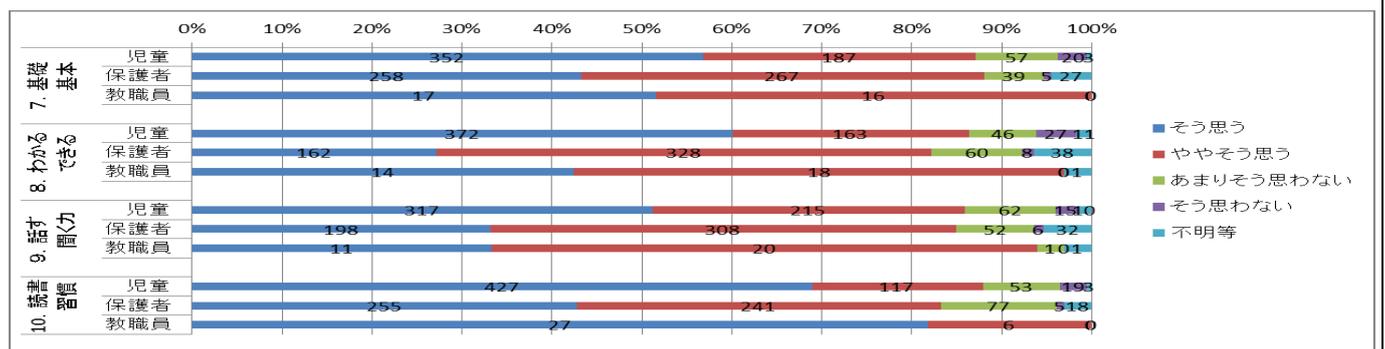
◇3つの「あ」◇

あいさつ週間には、保護者の皆様にご協力をいただき取り組んできました。今年度も、小中連携の活動の一つとして北町中学校の生徒のみなさんと一緒に校門に立ち、あいさつ運動に参加しました。まず教職員は範を示すことが大切と考え、根気よく取り組んでいきます。また、あとしまつや片付けについては、「さらに声かけが必要」との反省がありました。物の扱いについても併せて根気よく取り組んで参ります。これからもご協力をお願いいたします。

<かしくく>

基礎基本の学習	朝の「北町タイム」などを実施して、基礎的、基本的な学習内容の定着を図っている。										北町タイムなどで、読んだり、書いたり、計算したりする力が身に付いている。				
	保護者					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	未	A	B	C	D	未
	43.3	44.8	6.5	0.8	4.5	51.5	48.5	0.0	0.0		56.9	30.2	9.2	3.2	0.5
46.8	45.4	7.2	0.2	0.4	7.7	69.2	23.1	0.0		56.0	29.5	10.7	3.1	0.7	

分 で か き る 授 業	学習のねらいが明確で、子供たちが「わかる」「できる」授業を進めている。										授業は楽しく分かりやすい。				
	保護者 (%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	未	A	B	C	D	未
	27.2	55.0	10.1	1.3	6.3	42.4	54.5	0.0	3.1		60.1	26.3	7.4	4.4	1.8
25.5	57.7	14.4	1.9	0.4	37.9	51.7	10.3	0.0		54.0	32.9	7.8	5.2	0.2	
話 す ・ 力 の 育 成	色々な学習の場面で、話す、聞く、表現する能力の向上を図っている。										自分の考えをもって話したり、先生や友達の話聞き取ったりできる。				
	保護者 (%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	未	A	B	C	D	未
	33.2	51.7	8.7	1.0	5.4	33.3	60.6	3.0	3.0		52.1	34.7	10.0	2.4	1.6
30.2	58.3	10.7	0.6	0.2	16.7	83.3	0.0	0.0		47.1	39.3	11.4	1.9	0.3	
読 書 習 慣 の 形 成	週1回の読書タイムや読書月間などを通じて、読書を習慣化し、それらで得たことを学習に生かせるようにしている。										読書のタイムや図書時間は、本を楽しく読んでいる。				
	保護者 (%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	未	A	B	C	D	未
	42.8	40.4	12.9	0.8	3.0	81.8	18.2	0.0	0.0		69.0	18.9	8.6	3.1	0.5
42.9	42.1	13.3	1.2	0.6	57.1	35.7	7.1	0.0		67.2	20.3	8.6	3.6	0.2	



<評議員の皆様より>

- 全体的に保護者、教職員、児童とも、昨年より評価が向上しており、評価できる。
- 毎年、取り組み積み上げてきたものだと思います。継続していくことが成熟度を上げることと思います。
- 児童の評価において、いずれもA評価が過半数を超えており、達成度が高いと考えられる。習熟度別学習にも力を入れており、評価できる。
- 図書館職員や図書ボランティアのおかげで、見違えるほど図書室がきれいになった。児童の貸出カードから学年やクラス毎に冊数やどんな本が読まれているかをまとめてみるのも良いと思う。

4. 25
/ 5点

<考察と来年度に向けて>

◇北町タイム◇

- 北町タイムは主に、「漢字練習」や「漢字テスト」「計算練習」「音読練習」等、基礎的な学習内容の定着を図っていきます。今後も継続を望む声をいただいております。短い時間を効果的に活用して参ります。

◇分かる・できる授業◇

- 算数は1年生～6年生まで全学年で習熟度別学習を行います。4年生～6年生については、学力向上支援講師を活用して3学級5展開で行います。児童からも「コース別の学習を続けてほしい。」との意見が出ており、習熟度で分けて取り組むことで学習意欲の高まりが見られます。給食準備の時間を活用して算数で補充学習にも取り組みました。ICT機器の活用も積極的に進めてきました。保護者からのお声にもあるように、どの教科も子供たちが楽しく意欲的に取り組めるよう、研修を重ね個々に対応したより一層の充実を図ります。

◇話す・聞く力の育成◇

- 学級活動で自分の意見を発表することが、他の場面でも生かされています。全学年で保護者への学習発表の場を年1回以上設定し取り組む予定です。普段の授業の中でもしっかり聞くこと、分かり易く話すことの学習を積み重ねて、言語活動の充実を図ってまいります。

◇読書習慣の形成◇

- 読書タイム、読書月間などの取り組みに高い評価をいただきました。図書館管理員の専門性を生かし、学校図書館の運営が円滑に進んでおります。読み聞かせ活動に多くの図書ボランティアが参加あり、ブックトークや本の探検ラリー等、本に親しむ活動が充実してきました。さらに多くの方にご協力いただけるよう活動について呼びかけも進めて参ります。

<たくましく>

体力向上	体育の授業を改善したり、外遊びを積極的に働きかけたりして、体力の向上を図っている。					体育や休み時間には、進んで体を動かし、体力を高めようとしている。									
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	32.2	46.1	14.1	1.7	5.8	21.2	69.7	6.1	3.0	58.6	24.9	10.2	5.2	1.1	
心のたくまし	様々な教育活動を通して、がんばる心を育てている。					様々に最後までがんばって取り組んでいる。									
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	25.2	51.3	14.3	0.8	8.4	24.2	69.7	3.0	3.0	59.5	30.9	6.8	1.9	1.0	
オリ・パラ教育	オリンピック、パラリンピック教育を通して、多様性を尊重する態度を育てている。					オリ・パラから、自分とちがう生活の仕方や考え方を受け止めようとしている。									
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	20.8	41.3	20.1	3.2	14.6	3.0	75.8	16.2	3.0	41.8	33.4	13.1	8.6	3.1	



<評議員の皆様より>

- ・持久走は、続けてほしい。ゲストティーチャーを招いた際には、保護者は勿論、地域の方にも知らせてほしい。
- ・体力向上では、高学年ほど外遊びをしなくなる傾向があるとのことであるが、教職員、保護者と児童の評価におけるAとB評価の割合が逆転している。教職員、保護者はB評価が高く、児童はA評価高い。取組について、概ね良いと評価を受けていると考えられるが、実際の体力テストの結果と評価の乖離を検討してみたらどうか。
- ・身体を動かすことが楽しいと思えるような気持ちや心を養うことが大切だと思う。
- ・体力的には都の平均を下回っているものの、学年が上がるに従い着実に成長が見られると分析されている。保護者の評価が最も低い分野でもあり、更なる工夫が必要だと思われる。

3.75

／5点

<考察と来年度に向けて>

◇体力向上・心のたくましさ◇

- ・体力向上月間ではなわとびや持久走も継続して取り組み、それぞれの児童が目標を設けて楽しく取り組み、がんばる心を育ててきました。次年度は、体力テストの結果等を基に目標をもって運動に取り組む児童を育てていきます。体育の学習の充実を図るとともに、外遊びをするよう声かけもしていきます。

◇オリンピック・パラリンピック教育◇

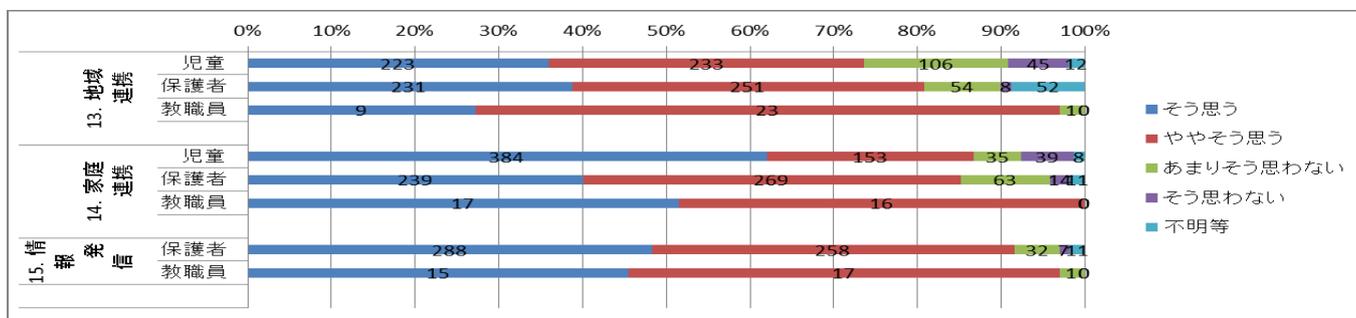
- ・オリンピック、パラリンピック教育を推進し、運動に対する関心を高めるよう取り組んできました。ゲストティーチャーの話や演技から目標をもって取り組む大切さを学ぶことができました。次年度においては、学校教育目標の「たくましく 一心身の健康に努め、ねばり強く活動する子供」を重点としていきます。
- ・「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」等についての学習活動を計画し、多様性を尊重する態度を育てていきます。

<家庭・地域との連携>

地域との連携	どの学年も地域に関わる学習を設定し、地域の教育力を積極的に活用している。					中学生や地域の人々と関わろうとしている									
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D		
	38.8	42.1	9.1	1.3	8.7	27.3	69.7	3.0	0.0	36.6	37.6	17.1	9.2		

28年度未調査

家庭との連携	子供は、家庭での学習習慣が身に付いている。													
	保護者(%)					教職員				児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	
	40.1	45.1	10.6	2.3	1.9	51.5	48.5	0.0	0.0	62.0	24.7	5.7	7.6	
	25.5	47.0	25.0	1.9	0.6	29.2	70.8	0.0	0.0	28年度未調査				
情報発信	学校連絡メールやホームページなど、学校からの情報発信の方法を工夫している。													
	保護者(%)					教職員								
	A	B	C	D	未	A	B	C	D					
	48.3	43.3	5.4	1.2	1.8	45.5	51.5	3.0	0.0					
	45.0	45.0	8.4	1.2	0.4	6.9	44.8	48.3	0.0					



<評議員の皆様より>

- ・正門の掲示板を立ち止まって見ている方もいる。掲示物の確実な更新をお願いしたい。掲示板を通して学校の情報の公開にも繋がるのではないかと。利用を進めてほしい。
- ・地域との連携における児童の評価で、CD評価が26%もあり、課題を感じる。
- ・地区の青少年育成委員会の様々な活動により多くの児童の協力や参加が頂けるようになって良いと考える。
- ・地域の特色を活用した教育活動は評価できる。しかし、学校を離れると地域行事への参加率が低いという報告が青少年育成委員会からあり、保護者を巻き込んでのアプローチの仕方を感じる必要がある。

3.25

/5点

<考察と来年度に向けて>

◇地域との連携◇

- ・本校の特色でもある地域とかかわりのある学習への取組に、高い評価をいただいています。保護者の皆様、地域の皆様のご協力にお礼申し上げます。活動の充実のため、保護者のご参加を呼びかけることもあります。より豊かな学習のため無理のない範囲でご協力願えると助かります。

◇家庭との連携◇

- ・家庭学習は、習慣を身に付けるために宿題の他、自主的に取り組む学習も必要です。「10分×学年」が家庭学習の時間の目安です。家庭での学習習慣を身に付けさせたいとのご意見に答えるため、ご家庭と連携して取り組めるようご協力をお願いいたします。

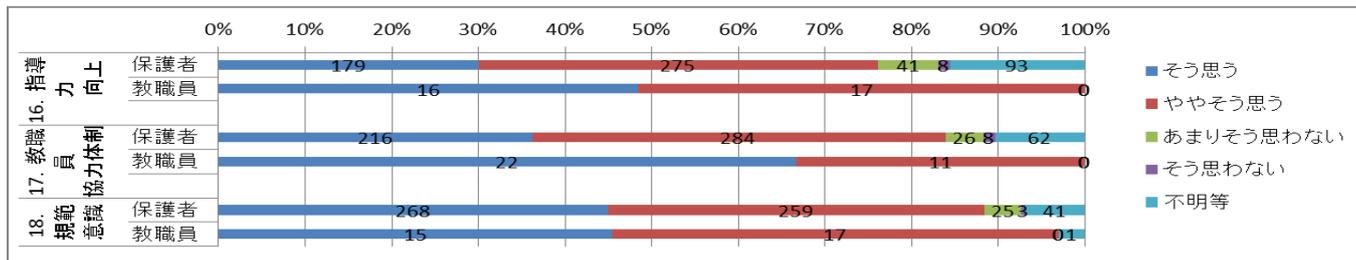
◇情報発信◇

- ・一斉メールについては、できるだけ早く情報を伝える努力をいたします。一斉メールの多様な活用についてご意見をいただきましたが、緊急対応のため、用途が制限されています。学級閉鎖の連絡や台風や大雪等に伴うお知らせ、運動会や遠足の開催予定についてお知らせして参ります。保護者のみなさまのご登録のお願いするとともに、ご理解とご協力をお願いします。HPを楽しみにしていらっしゃる保護者も多いとお声をいただきました。更新するよう努めます。

<教職員の資質の向上>

指導力の向上	学習環境を工夫して、児童が主体となって生き生きと活動する授業づくりをしている。													
	保護者(%)					教職員								
	A	B	C	D	未	A	B	C	D					
	30.0	46.1	6.9	1.3	15.6	48.5	51.5	0.0	0.0					
	28.1	54.0	15.0	1.8	1.2	23.3	76.7	0.0	0.0					
教職員協力の体制	全職員で協力して、子供たちが学びやすい環境をつくっている。(施設設備等も含む)													
	保護者(%)					教職員								
	A	B	C	D	未	A	B	C	D					
	36.2	47.7	4.4	1.3	10.4	66.7	33.3	0.0	0.0					
	33.7	51.3	12.7	1.8	0.6	22.6	74.2	3.2	0.0					

教職員規範意識	教職員は規範やモラルを遵守している。また、場に応じた服装や正しい言葉遣いができるようにしている。									
	保護者(%)					教職員				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	
	45.0	43.5	4.2	0.5	6.8	45.5	51.5	0.0	0.0	
	44.2	46.0	7.8	1.6	0.4	22.6	71.0	6.5	0.0	



<評議員の皆様より>

- 各調査項目で保護者のC評価が前年より向上している点は良いことである。未回答の割合が他の評価項目より高いことが気になる。この点では、教職員のこの面に関わる取組や改善・工夫についての周知も必要と感じる。
- 先生方の一部ではあるが、あいさつなどすすんで取組でほしいと感じる時がある。
- 教職員の取組や改善・工夫について理解できる。教職員の評価に比べ、保護者の評価が低いことは残念であり、これらのことをもっとアピールして良いのではないかと感じる。

4.0
/5点

<考察と来年度に向けて>

教職員の資質向上について、概ね良いと80%以上評価をいただきました。指導力や協力体制において、教職員もさらに高める必要を感じております。校内、校外での研究・研修を重ねるとともに、児童にとって充実した教育となるよう、教職員が一丸となって取り組んでまいります。

皆様のご意見をすべて全教職員で拝見し、検討いたしました。皆様からいただきました多数の貴重なご意見を、来年度の学校運営と教育活動に生かしてまいります。今後もお気付きの点がございましたら、遠慮なく学校へお寄せください。皆様と一緒によりよい学校にしていきたいと存じます。

平成29年度 学校評議員の皆様

民生・児童委員	小林 由美 様
民生・児童委員	高野 一明 様
学校歯科医	中田 郁平 様
元PTA会長・学校応援団団長	吉川 常昭 様
青少年第八地区育成委員会会長	栗原 邦彦 様
北町児童館長	沖野 一則 様
青少年委員・元PTA会長	風間 みどり 様
北町中学校PTA会長	漆原 仁志 様
PTA会長	飯田 竜太郎 様